

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-024419

(43)Date of publication of application : 25.01.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 13/00

G06F 17/30

(21)Application number : 2000-205154

(71)Applicant : YANMAR DIESEL ENGINE CO LTD

(22)Date of filing : 06.07.2000

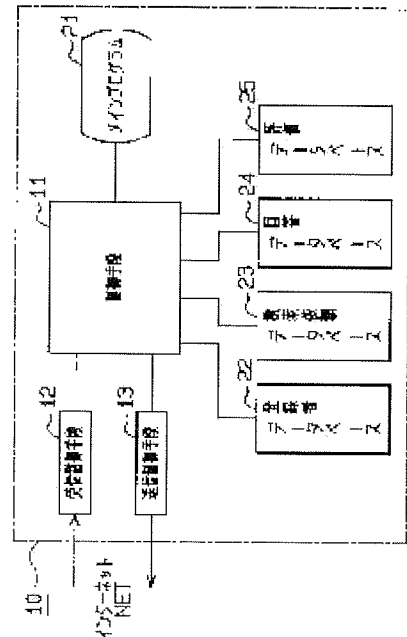
(72)Inventor : ARAKI MIKIO
HATA KAZUHIRO

(54) DEVICE AND METHOD FOR COLLECTING/PROVIDING INFORMATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a device and a method for collecting/providing information, by which a more suitable answer can be obtained by making answerers compete with each other by making a user evaluate the answer and utilizing stored retrieval requests and answers for the other user as well.

SOLUTION: A control means 11 of a server 10 presents retrieval request information through the Internet NET onto a terminal and when the information of an answer to the retrieval request information and answerer information are received, the retrieval request information, the answer information and the answerer information are stored in storage means 22-25 while being mutually related. The control means 11 presents the retrieval request information, the answer information and the answerer information and when the information of evaluation to the presented answer information is received, the answer information and the evaluation information are stored in the storage means 22-25 while being related. The control means 11 determines the rank of answerers on the basis of the evaluation information concerning the answer information for every answerer information and presents answerer ranking.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-24419
(P2002-24419A)

(43) 公開日 平成14年1月25日 (2002.1.25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	1 3 2	G 0 6 F 17/60	1 3 2 5 B 0 4 9
	1 5 2		1 5 2 5 B 0 7 5
13/00	5 6 0	13/00	5 6 0 C
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F
	3 4 0		3 4 0 Z

審査請求 有 請求項の数18 O L (全 21 頁)

(21) 出願番号 特願2000-205154(P2000-205154)

(22) 出願日 平成12年7月6日 (2000.7.6)

(71) 出願人 000006781

ヤンマーディーゼル株式会社
大阪府大阪市北区茶屋町1番32号

(72) 発明者 荒木 幹雄

大阪府大阪市北区茶屋町1番32号 ヤンマ
ーディーゼル株式会社内

(72) 発明者 畑 和弘

大阪府大阪市北区茶屋町1番32号 ヤンマ
ーディーゼル株式会社内

(74) 代理人 100068755

弁理士 恩田 博宣 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 DD01 EE05 FF01 GG02

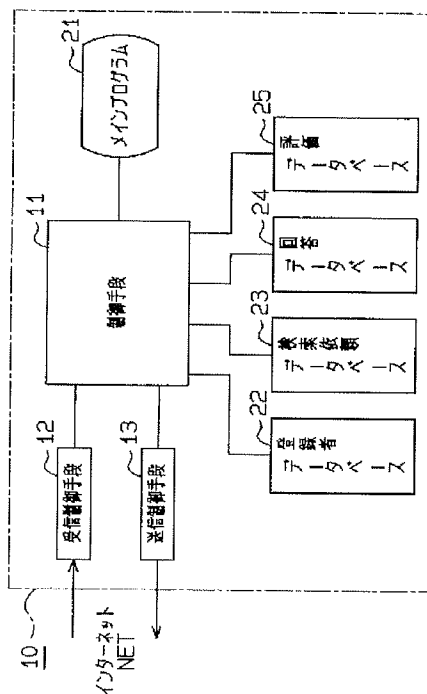
5B075 KK07 PR10

(54) 【発明の名称】 情報収集・情報提供装置及び情報収集・情報提供方法

(57) 【要約】

【課題】 回答をユーザが評価することにより、回答者を競わせて、より適正な回答を得られ、蓄積された検索依頼と回答とを他のユーザも利用することができる情報収集・情報提供装置及び情報収集・情報提供方法を提供する。

【解決手段】 サーバ10の制御手段11は検索依頼情報をインターネットNETを介して端末に提示し、検索依頼情報への回答情報と、回答者情報を受入れた際、検索依頼情報、回答情報、回答者情報とを互いに関連付けて記憶手段22～25に記憶させる。制御手段11は検索依頼情報と、回答情報、回答者情報を提示し、提示された回答情報への評価情報を受入れると、回答情報と評価情報とを関連付けて記憶手段22～25に記憶させる。制御手段11は回答者情報毎に、その回答情報に関する評価情報に基づいて回答者の順位を決定し、回答者順位を提示する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンピュータネットワークを使用して、端末から検索依頼情報及びそれに対する回答情報を受入れて収集し、検索依頼情報と回答情報とを互いに関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供方法において、検索依頼情報を受入れて記憶し、端末からの要求により前記検索依頼情報を提示し、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶し、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示し、前記提示された回答情報に対する評価情報を受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶し、回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示することを特徴とする情報収集・情報提供方法。

【請求項 2】 コンピュータネットワークを使用して、端末から検索依頼情報及びそれに対する回答情報を受入れて収集し、検索依頼情報と回答情報とを互いに関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供方法において、検索依頼情報とともにその検索依頼情報に対する回答期限情報を受入れて、関連付けて記憶し、端末からの要求によりその検索依頼情報と回答期限情報を提示し、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を受入れた際、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶し、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示し、前記提示された回答情報に対する評価情報を受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶し、回答者情報毎に、回答者が関与した回答情報の評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示することを特徴とする情報収集・情報提供方法。

【請求項 3】 前記ランク付けパラメータの算出は、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、検索依頼情報を受入れた日であって、終期は回答期限情報の回答期限を越える所定日であることを特徴とする請求項 2 に記載の情報収集・情報提供方法。

【請求項 4】 前記ランク付けパラメータの算出は、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、検索依頼情報を

受入れた日を経過した日であって、回答期限情報の回答期限の以前の日であり、終期は回答期限を越える所定日であることを特徴とする請求項 2 に記載の情報収集・情報提供方法。

【請求項 5】 前記ランク付けパラメータの算出は、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、回答期限情報の回答期限の日であり、終期は回答期限を越える所定日であることを特徴とする請求項 2 に記載の情報収集・情報提供方法。

【請求項 6】 前記評価情報はポイントであり、前記ランク付けパラメータの算出は、回答者の回答回数とは無関係にそのポイントを累積することである請求項 3 乃至請求項 5 のうちいずれか 1 項に記載の情報収集・情報提供方法。

【請求項 7】 前記評価情報はポイントであり、前記ランク付けパラメータの算出は、そのポイントを累積し、その累積値を回答者の回答回数で除算することである請求項 3 乃至請求項 5 のうちいずれか 1 項に記載の情報収集・情報提供方法。

【請求項 8】 前記ポイントの累積には、回答者が関与した 1 つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合、これらのポイントを合計することを含むことを特徴とする請求項 6 又は請求項 7 に記載の情報収集・情報提供方法。

【請求項 9】 前記ポイントの累積には、回答者が関与した 1 つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合、この平均値を算出した上で、この平均値を加算することを含むことを特徴とする請求項 6 又は請求項 7 に記載の情報収集・情報提供方法。

【請求項 10】 コンピュータネットワークに接続され、コンピュータネットワークを介して入力された検索依頼情報及び回答情報を収集し、検索依頼情報に関係する回答情報を関連付けてデータベースとして構築し、検索依頼情報と回答情報とを互いに関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供装置において、

検索依頼情報を受入れて記憶する記憶手段と、端末からの要求により前記検索依頼情報を提示する第 1 提示手段と、

前記検索依頼情報に対する回答情報と、その回答情報を付与した回答者の回答者情報を受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報、及び回答者情報とを互いに関連付けて前記記憶手段に記憶させる第 1 記憶制御手段と、検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示する第 2 提示手段と、

前記提示された回答情報に対する評価情報を受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶手段に記憶させる第 2 記憶制御手段と、

回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定する順位決定手段と、

前記順位決定手段が決定した回答者順位を提示する第3提示手段を備えたことを特徴とする情報収集・情報提供装置。

【請求項11】 前記記憶手段は、検索依頼情報とともにその検索依頼情報に対する回答期限情報を受入れて記憶するものであり、

第1提示手段は、端末からの要求によりその検索依頼情報と回答期限情報を提示するものである請求項10に記載の情報収集・情報提供装置。

【請求項12】 前記順位決定手段は、前記ランク付けパラメータの算出として、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、検索依頼情報を受入れた日であって、終期は回答期限情報の回答期限を越える所定日であることを特徴とする請求項11に記載の情報収集・情報提供装置。

【請求項13】 前記順位決定手段は、前記ランク付けパラメータの算出として、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、検索依頼情報を受入れた日を経過した日であって、回答期限情報の回答期限の以前の日であり、終期は回答期限を越える所定日であることを特徴とする請求項11に記載の情報収集・情報提供装置。

【請求項14】 前記順位決定手段は、前記ランク付けパラメータの算出として、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、回答期限情報の回答期限の日であり、終期は回答期限を越える所定日であることを特徴とする請求項11に記載の情報収集・情報提供装置。

【請求項15】 前記評価情報はポイントであり、前記ランク付けパラメータの算出は、回答者の回答回数とは無関係にそのポイントを累積することである請求項12乃至請求項14のうちいずれか1項に記載の情報収集・情報提供装置。

【請求項16】 前記評価情報はポイントであり、前記ランク付けパラメータの算出は、そのポイントを累積し、その累積値を回答者の回答回数で除算することである請求項12乃至請求項14のうちいずれか1項に記載の情報収集・情報提供装置。

【請求項17】 前記ポイントの累積には、回答者が関与した1つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合、これらのポイントを合計することを含むことを特徴とする請求項15又は請求項16に記載の情報収集・情報提供装置。

【請求項18】 前記ポイントの累積には、回答者が関与した1つの回答情報に対して複数のポイントが付与さ

れている場合、平均値を算出した上で、この平均値を加算することを含むことを特徴とする請求項15又は請求項16に記載の情報収集・情報提供装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ネットワークを利用した情報収集・情報提供装置及び情報収集・情報提供方法に関する。特に、例えばインターネット上において、種々の検索依頼を受入れた際に、その検索依頼に対する回答の収集が行いやすく、又、回答に対する評価を行うことができる情報収集・情報提供装置及び情報収集・情報提供方法に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネット上において、インターネット情報検索サービスが従来から行われている。インターネット情報検索サービスとしては、「ロボット系」、「ディレクト系」、「メタ系」のものが公知である。

【0003】「ロボット系」は、探したい情報に関連するキーワードを指定し、例えばWWW(World Wide Web)サーバーを巡回して自動収集するWWWロボットにて情報を自動収集するサービスである。

【0004】「ディレクト系」は、例えばNTTの職業電話帳のようにディレクトリを提供するサービスであって、ユーザは「観光ヨーロッパ」のように、分類項目を指定しながら、探したいサイトを絞り込むものである。

【0005】「メタ系」は、自分自身はデータベースを持たず、ユーザからの検索要求を複数の検索サービス機関に送り、その結果を加工してユーザに検索結果として返すサービスである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来のインターネット情報検索サービスでは、検索キーワードを適切に入力しないと、検索結果がある時は、0件であったり、ある時は数百件となったりして的確な回答が得られない問題がある。そして、検索結果の件数が数件であっても、期待しているような情報が得られるかどうかは不明である問題がある。

【0007】本発明は、上記問題点を解消するためになされたものであって、「調べたいこと」や、「知りたいこと」に関する「回答」をインターネットユーザから募集することにより、キーワードを指定した際に的確な回答しか得られない問題を解消し、さらに、回答する人の知的レベルや回答スピードを、ユーザが評価することにより、回答者を競わせて、より適正な回答を得ることができ、さらに、蓄積された検索依頼と回答とを他のユーザも利用することができる情報収集・情報提供装置及び情報収集・情報提供方法を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】前記の目的を達成するため請求項1に記載の発明は、コンピュータネットワーク

10

20

30

40

50

を使用して、端末から検索依頼情報及びそれに対する回答情報を受入れて収集し、検索依頼情報と回答情報とを互に関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供方法において、検索依頼情報を受入れて記憶し、端末からの要求により前記検索依頼情報を提示し、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶し、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示し、前記提示された回答情報に対する評価情報を受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶し、回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示することを要旨とするものである。

【0009】請求項2の発明は、コンピュータネットワークを使用して、端末から検索依頼情報及びそれに対する回答情報を受入れて収集し、検索依頼情報と回答情報とを互に関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供方法において、検索依頼情報とともにその検索依頼情報に対する回答期限情報を受入れて、関連付けて記憶し、端末からの要求によりその検索依頼情報と回答期限情報を提示し、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を受入れた際、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶し、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示し、前記提示された回答情報に対する評価情報を受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶し、回答者情報毎に、回答者が関与した回答情報の評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示することを要旨とするものである。

【0010】請求項3の発明は、請求項2において、前記ランク付けパラメータの算出は、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、検索依頼情報を受入れた日であって、終期は回答期限情報の回答期限を越える所定日であることを要旨とするものである。

【0011】請求項4の発明は、請求項2において、前記ランク付けパラメータの算出は、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、検索依頼情報を受入れた日を経過した日であって、回答期限情報の回答期限の以前の日であり、終期は回答期限を越える所定日であることを要旨とするものである。

【0012】請求項5の発明は、請求項2において、前

記ランク付けパラメータの算出は、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、回答期限情報の回答期限の日であり、終期は回答期限を越える所定日であることを要旨とするものである。

【0013】請求項6の発明は、請求項3乃至請求項5のうちいずれか1項において、前記評価情報はポイントであり、前記ランク付けパラメータの算出は、回答者の回答回数とは無関係にそのポイントを累積することを要旨とするものである。

【0014】請求項7の発明は、請求項3乃至請求項5のうちいずれか1項において、前記評価情報はポイントであり、前記ランク付けパラメータの算出は、そのポイントを累積し、その累積値を回答者の回答回数で除算することを要旨とするものである。

【0015】請求項8の発明は、請求項6又は請求項7において、前記ポイントの累積には、回答者が関与した1つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合、これらのポイントを合計することを要旨とするものである。

【0016】請求項9の発明は、請求項6又は請求項7において、前記ポイントの累積には、回答者が関与した1つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合、平均値を算出した上で、この平均値を加算することを含むことを要旨とするものである。

【0017】請求項10の発明は、コンピュータネットワークに接続され、コンピュータネットワークを介して入力された検索依頼情報及び回答情報を収集し、検索依頼情報に関する回答情報を関連付けてデータベースとして構築し、検索依頼情報と回答情報とを互に関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供装置において、検索依頼情報を受入れて記憶する記憶手段と、端末からの要求により前記検索依頼情報を提示する第1提示手段と、前記検索依頼情報に対する回答情報と、その回答情報を付与した回答者の回答者情報を受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報、及び回答者情報とを互に関連付けて前記記憶手段に記憶させる第1記憶制御手段と、検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示する第2提示手段と、前記提示された回答情報に対する評価情報を受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶手段に記憶させる第2記憶制御手段と、回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定する順位決定手段と、前記順位決定手段が決定した回答者順位を提示する第3提示手段を備えたことを要旨とするものである。

【0018】請求項11の発明は、請求項10において、前記記憶手段は、検索依頼情報とともにその検索依

頼情報に対する回答期限情報を受入れて記憶するものであり、第1提示手段は、端末からの要求によりその検索依頼情報と回答期限情報を提示するものであることを要旨とするものである。

【0019】請求項12の発明は、請求項11において、前記順位決定手段は、前記ランク付けパラメータの算出として、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、検索依頼情報を受入れた日であって、終期は回答期限情報の回答期限を越える所定日であることを要旨とするものである。

【0020】請求項13の発明は、請求項11において、前記順位決定手段は、前記ランク付けパラメータの算出として、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、検索依頼情報を受入れた日を経過した日であって、回答期限情報の回答期限の以前の日であり、終期は回答期限を越える所定日であることを要旨とするものである。

【0021】請求項14の発明は、請求項11において、前記順位決定手段は、前記ランク付けパラメータの算出として、所定の算出対象期間に受入れられた評価情報について行うものとし、前記算出対象期間の始期は、回答期限情報の回答期限の日であり、終期は回答期限を越える所定日であることを要旨とするものである。

【0022】請求項15の発明は、請求項12乃至請求項14のうちいずれか1項において、前記評価情報はポイントであり、前記ランク付けパラメータの算出は、回答者の回答回数とは無関係にそのポイントを累積することを要旨とするものである。

【0023】請求項16の発明は、請求項12乃至請求項14のうちいずれか1項において、前記評価情報はポイントであり、前記ランク付けパラメータの算出は、そのポイントを累積し、その累積値を回答者の回答回数で除算することを要旨とするものである。

【0024】請求項17の発明は、請求項15又は請求項16において、前記ポイントの累積には、回答者が関与した1つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合、これらのポイントを合計することを含むことを要旨とするものである。

【0025】請求項18の発明は、請求項15又は請求項16において、前記ポイントの累積には、回答者が関与した1つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合、平均値を算出した上で、この平均値を加算することを含むことを要旨とするものである。

【0026】（作用）請求項1の発明によれば、インターネットを介して端末からの検索依頼情報を受入れて記憶し、次に、端末からの要求により前記検索依頼情報を提示する。続いて、端末から、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報と回答者

情報とを関連付けて記憶する。

【0027】そして、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示する。この場合、検索依頼情報、回答情報、回答者情報とを提示してもよい。

【0028】前記提示された回答情報に対する評価情報を受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶する。その後、回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示する。

【0029】このようにして、請求項1の発明によれば、コンピュータネットワークを使用して、端末から検索依頼情報及びそれに対する回答情報が収集され、検索依頼情報と回答情報とを互いに関連付けてデータベース化される。

【0030】又、回答者毎の評価情報が提示されるため、回答者のランキング付けが可能となり、ユーザによる回答者の知的レベルの評価が可能となり、回答者の知的レベルを競わせることが可能となる。

【0031】請求項2の発明によれば、検索依頼情報とともにその検索依頼情報に対する回答期限情報を受入れて、関連付けて記憶する。次に、端末からの要求によりその検索依頼情報と回答期限情報を提示する。続いて、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を受入れた際、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶する。

【0032】そして、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示する。この場合、検索依頼情報、回答情報、回答者情報とを提示してもよい。

【0033】前記提示された回答情報に対する評価情報を受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶する。その後、回答者情報毎に、回答者が関与した回答情報の評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示する。

【0034】このようにして、請求項2の発明によれば、請求項1の発明同様に検索依頼情報と回答情報とを互いに関連付けてデータベース化される。又、回答期限情報が提示されるため、回答者の評価情報には、この回答期限までに回答がなされたか否かかの評価も加えることが可能となる。すなわち、早い回答がされた場合の評価はそうでない場合に比して高い評価が得られやすい。このことにより、回答者間の回答スピードを競わせることが可能となる。

【0035】請求項10の発明によれば、記憶手段は、インターネットを介して端末からの検索依頼情報を受入れて記憶する。第1提示手段は、端末からの要求により

前記検索依頼情報をインターネットを介して端末に提示する。第1記憶制御手段は、前記検索依頼情報に対する回答情報と、その回答情報を付与した回答者の回答者情報を受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報、及び回答者情報とを互いに関連付けて前記記憶手段に記憶させる。

【0036】又、第2提示手段は、検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示する。第2記憶制御手段は、前記提示された回答情報に対する評価情報を受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶手段に記憶させる。又、順位決定手段は、回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定する。第3提示手段は、前記順位決定手段が決定した回答者順位を提示する。

【0037】

【発明の実施の形態】以下、本発明を具体化した一実施形態を図1～図15に従って説明する。図1はコンピュータネットワーク上における情報収集・情報提供を行うサーバ10の制御ブロック図を示し、図2はコンピュータネットワークシステムの一例を示した図である。

【0038】図2に示すように、サーバ10は、経路制御装置、電話回線を経由してインターネットNETに接続されている。前記インターネットNETには各種の端末201、202、203…がサーバ10と同様にインターネットNETに接続されている。ここで、端末201、202、203…は、パソコンにて構成されている。図3は、このパソコン等の構成例を示している。ROM (Read Only Memory) 212は、システムプログラムを記憶しており、CPU (Central Processor Unit) 211は、このROM 212に記憶されているシステムプログラムや、RAM (Random Access Memory) 213に展開されたプログラム (アプリケーションプログラム) にしたがって各種の処理を実行するようになされている。前記RAM 213は、CPU 211が各種の処理を実行する上において必要なプログラムやデータなどを適宜記憶するようになされている。インターフェイス214は、ハードディスク215、通信部216、入力部217、及びディスプレイ218の入出力を管理する。なお、インターフェイス214は、バスを介して、CPU 211、ROM 212、及びRAM 213に対して接続されている。

【0039】前記ハードディスク215は、比較的高速にアクセスする必要のあるデータやプログラムなどを適宜記憶する。前記通信部216は、インターネットNETなどを介して通信を行うための、通信に必要な制御を行う。入力部217は、例えばキーボードやマウスなどにより構成され、各種の指令、その他必要な情報などを入力する。ディスプレイ218は、CRTやLCDなど

により構成され、文字や画像などの表示を行う。

【0040】ここで、サーバ10について説明する。図1に示すように、制御手段11は、CPU等から構成され、各部の制御や、データの転送、種々の演算、データの一時的な格納等を行なう。受信制御手段12はインターネットNETを介して接続された端末から入力される受信データを制御する。送信制御手段13は、前記端末201等へ出力される送信データを制御するようにされている。

【0041】記憶手段21～25は、それぞれ以下のファイルが格納、記憶されている。まず、プログラム記憶手段としての記憶手段21には、メインプログラムが記憶されている。メインプログラムは、端末201等のディスプレイ218に画面を表示させるプログラムや、端末201等から入力された各種データをそのデータの種類に応じてデータベースを構築するデータベース構築プログラムや、データベースから必要なデータを検索するプログラム、評価情報であるポイントを集計し、回答者をランク付けするプログラム等の種々のプログラムが格納されている。

【0042】記憶手段22には、登録者データベースが格納されている。図6 (b) に示すように登録者データベースは、各会員毎に、会員番号、URL、会員ID、有料会員か無料会員かを示す有料会員データ (図中では、「有料会員」で示す)、その会員が得意な分野を示す得意ジャンルデータ (図中では、「得意ジャンル」で示す)、その会員のプロフィールデータ (図中では、「プロフィール」で示す)、評価情報の累積値を示す評価情報合計、及びランキングデータ (図中では、「ランキング」で示す) を備えている。

【0043】記憶手段23には、検索依頼データベースが格納されている。図5 (a) に示すように検索依頼データベースは、各検索依頼毎に、検索依頼番号、検索依頼を付与した検索依頼者の会員番号 (図中では、「検索依頼者会員番号」)、検索依頼内容が属するジャンル、検索依頼タイトル、検索依頼内容としての依頼内容説明、指名回答者会員番号、その検索依頼の回答期限データ (図中では「回答期限」)、「検索依頼日」の各種データを備えている。指名回答者会員番号は、検索依頼者が特定の回答者に回答を希望する場合にその回答者の会員番号が付与される。

【0044】前記検索依頼タイトル、依頼内容説明は、検索依頼情報に相当する。又、登録者データベースと、検索依頼データベースとは、それぞれが備えた会員番号を介して、互いに関連付けられ、必要なデータ同士のリンクが可能であり、読出しが可能である。

【0045】記憶手段24には、回答データベースが格納されている。図5 (b) に示すように回答データベースは、各回答毎に回答番号、回答に対応する検索依頼内容の検索依頼番号、回答タイトル、追加補足、回答者の

URL、回答者の会員ID（図中では、「回答者ID」）、及び回答日時データ（図中では、「回答日時」）の各種データを備えている。

【0046】前記回答タイトル、及び追加補足は、回答情報に相当する。又、回答者IDは回答者情報に相当する、検索依頼データベースと回答データベースとは、それぞれが備えた検索依頼番号を介して関連付けられ互いに関連付けられ、必要なデータ同士のリンクが可能であり、読出しが可能である。

【0047】記憶手段25には、評価データベースが格納されている。図6（a）に示すように評価データベースは、各評価毎に評価番号、評価が付与された回答（追加補足）の回答番号、評価情報としてのポイント（点数）、コメント、及び評価を付与した会員の会員番号（図中では、「評価者会員番号」としている）を備えている。

【0048】回答データベースと、評価データベースとは、それぞれが備えた回答番号を介して関連付けられ、必要なデータ同士のリンクが可能であり、読出しが可能である。

【0049】（実施形態の作用）次に、上記のように構成された情報収集・情報提供装置の作用を図4～図15を参照して説明する。

【0050】なお、説明の便宜上、ここでは、端末201等を介して、すでに複数のユーザは、登録会員となっており、登録者データベースには、サーバ10から各会員に付与された会員番号、会員IDが登録されているものとする。又、有料会員になる希望者には、有料会員データも併せて登録者データベース（記憶手段22）に記録されている。さらに、登録者データベースには、その会員の得意ジャンル、プロフィールが端末201等から受入れられたデータに基づいて記録されている。

【0051】図4はメインプログラムの主要動作を示したフローチャートである。サーバ10に端末201等が接続されると、制御手段11は、受信制御手段12を介して接続を検知し、メインプログラムに従って端末201等を制御する。

【0052】すなわち、このメインプログラムを実行させるためには、予め、端末201等から、入力部217にて会員番号を入力し、サーバ10へ送信する。この会員番号をサーバ10の制御手段11が登録者データベースを検索し、正規の会員番号であると確認すると、制御手段11は端末201等のディスプレイ218に、図7に示すメインメニュー画面を表示させる。

【0053】この表示により、端末201等の操作者に対して、「検索依頼速報」41、「検索依頼登録」42、「ランキング表」43、及び「会員検索」44の下線を引いた文字列表示領域の中から所望する処理を選択するように促す。マウスカーソル50が、これらの「検索依頼速報」41、「検索依頼登録」42、「ランキン

グ表」43、「会員検索」44のいずれかの表示領域に位置させてクリックすると当該表示領域で示された処理が行われる。

【0054】又、メインメニュー画面においては、マウスカーソル50が表示され、所定の場所をクリックすることにより、種々の操作が行えるようにされている。すなわち、マウスカーソル50が、図7のボタン60U、60D、70L、70R、80U、80R、90L、90Rのいずれかの表示領域に、マウスカーソル50を合わせてクリックすると、当該三角形の頂点で定まる長方形をなす表示エリアが、各々上、下、左、右にスクロールする。なお、以下では、マウスカーソル50を所定の表示領域やボタンに位置させた上、クリックすることを単にクリックするという。

【0055】（1. ユーザ用端末201によって、検索依頼を出す場合）登録会員がこのユーザ用端末201を利用して、検索依頼を出す場合について説明する。

【0056】この場合、端末操作者は図4に示すステップ（以下、ステップをSという）10において、「検索依頼登録」42の表示領域をクリックする。すると、制御手段11はS80において、図8に示す検索依頼登録画面60を端末201のディスプレイ218に表示するように制御する。この検索依頼登録画面60には、ジャンル欄61、検索依頼タイトル欄62、依頼内容説明欄63、特定の回答者を指名する回答者の会員番号欄64、回答締め切り時刻欄65、及び検索依頼登録ボタン66が表示される。この表示された画面上において、端末操作者はこれらの欄に所望するデータを入力部217にて入力する（S90）。そして、すべての欄に必要な事項を入力した後、検索依頼登録ボタン66をクリックする。この検索依頼登録ボタン66のクリックにより、端末201はこれらの入力されたデータと、端末201と接続したときに入力した会員番号（検索依頼者会員番号）とをサーバ10へ送信（登録）する（S100）。

【0057】サーバ10の制御手段11は、受信制御手段12を介して、検索依頼者会員番号とこの検索依頼登録に関するデータを受入れ、記憶手段23に格納する。すなわち、検索依頼データベース中に新たな検索依頼番号を付与して、この検索依頼番号に対応して、検索依頼者会員番号を記憶する。又、前記検索依頼登録画面60のジャンル欄61、検索依頼タイトル欄62、依頼内容説明欄63、回答者の会員番号欄64、回答締め切り時刻欄65にそれぞれ入力されて受入れたデータを、検索依頼データベースの当該検索依頼番号に係る、ジャンル、検索依頼タイトル、依頼内容説明、指名回答者会員番号、及びその検索依頼の回答期限の欄にそれぞれ記録する。

【0058】サーバ10は、この新たに記憶手段23に格納されたデータを含む検索依頼データベースを参照し、ジャンル毎に分類し直した上で、接続された端末2

01等のディスプレイ218にメニュー画面の検索依頼速報画面領域100(図7参照)に表示する。

【0059】従って、検索依頼データベース上の検索依頼内容は、上記のようにして接続された端末201等にジャンル別に表示される。なお、表示画面の詳細な説明は後述する。

【0060】又、制御手段11は、受入れた検索依頼登録に関するデータ中に、回答者の会員番号データがある場合には、その会員登録番号に基づいて登録者データベースを検索し、検索した会員番号に対応するURLに基づいて、検索依頼内容データ、すなわち、ジャンル、検索依頼番号タイトル、依頼内容説明を送信する。

【0061】従って、この検索依頼内容を受信した回答者の端末のディスプレイ218では、この検索依頼内容データを表示し、指定された回答者の回答を促す。

(2. 検索依頼速報を見て、回答を入力する場合) 次に、端末202にて検索依頼速報を見て回答する場合を説明する。

【0062】端末202にて、検索依頼速報を見る場合、端末操作者は図4に示すS10において、「検索依頼速報」41の表示領域をクリックする。すると、制御手段11はS20において、図9に示す検索依頼速報画面領域100を端末202のディスプレイ218に表示するように制御する。

【0063】この検索依頼速報画面領域100には、ジャンル毎に、ジャンルの各項目を示す下線付き文字列101、ジャンル名102、ジャンプのためのシンボルマーク103が表示されている。又、各ジャンルにおいては、検索依頼速報の具体的内容である検索依頼タイトル文字列104、検索依頼者名105、検索依頼日106、回答期限107が検索依頼毎に表示されている。そして、前記下線付き文字列101や、シンボルマーク103をクリックすると、その該当するジャンルの項目までジャンプしたり、そのシンボルマーク103の意味するところまで画面をスクロールするようにされている。又、検索依頼タイトル文字列104をクリックすると、制御手段11はこの検索依頼タイトル文字列にリンクしたファイルを読み出して表示制御するようにされている。

【0064】なお、検索依頼者名105は、登録者データベースの中のプロフィールデータから読み出されて、表示され、回答期限107及び検索依頼日106は、検索依頼データベースの回答期限及び検索依頼日から読み出されて表示される。

【0065】ここで、検索依頼速報画面領域100中の検索依頼タイトル文字列104をクリックすると、例えば図9に示す「米国のインターネット購入商品の比率が分かる円グラフありませんか(1)」の文字列をクリックすると、同文字列にリンクしたファイルが読み込まれて、S30において、図10に示す検索依頼・回答表示

画面200が表示される。

【0066】なお、検索依頼・回答表示画面200用のファイル(検索依頼タイトル文字列にリンクしたファイル)は、制御手段11が、検索依頼データベース、回答データベース、及び評価データベース中の検索依頼番号に関連付けられたデータ、又は検索依頼番号に関連付けられた回答番号に対して関連付けられたデータのうち、必要なデータを読み込みして、画面データをファイル化して形成したものである。なお、これらのファイルは、記憶手段24に格納されている。

【0067】従って、検索依頼・回答表示画面200は、検索依頼タイトル文字列104、検索依頼者名105、検索依頼日106、回答期限107と同様に検索依頼タイトル文字列204、検索依頼者名205、検索依頼日206、回答期限207を表示するとともに、ジャンル210、依頼内容説明208を表示する。依頼内容説明208は、検索依頼データベースにおいて、この検索依頼タイトル文字列204に対応する検索依頼番号に関連付けられたデータである。

【0068】又、回答欄209には、回答データベース中、検索依頼番号に関連付けられた、回答タイトル、追加補足等の内容が表示されるが、図9の例では、回答欄209には回答が付与されていない例であるため、表示されていない。なお、回答欄に回答が付与された例(図12の例)は後述する。

【0069】そして、図9の例では、回答が付与されていないため、回答欄209の表示エリア内には回答がない旨の「現在回答はありません。エントリーしよう!」が定文として表示されている。

【0070】又、回答欄209の最下部には、「回答する」211、「新たに検索依頼する」212、及び「戻る」213の文字列が表示されている。ここで「戻る」213の文字列をクリックすると、S10のメニュー画面に戻り、「新たに検索依頼する」212の文字列をクリックすると、検索依頼登録画面の表示を行うS80にジャンプする。

【0071】そして、「回答する」211をクリックすると、図11に示す回答入力画面300が表示される。回答入力画面300は、回答タイトル入力欄301、追加補足欄302、URL入力欄303、回答者ID入力欄304、及び回答登録ボタン305を備えている。

【0072】この表示された画面上において、端末操作者はこれらの欄に所望するデータを入力部217にて入力する(S40)。そして、すべての欄に必要事項を入力した後、回答登録ボタン305をクリックする。この回答登録ボタン305のクリックにより、端末202はこれらの入力されたデータ、及びこの回答入力画面300に関連付けられた検索依頼番号データをサーバ10へ送信(登録)する(S50)。

【0073】サーバ10の制御手段11は、受信制御手

段12を介して、検索依頼番号データとこの回答登録に関するデータを受入れ、記憶手段24に格納する。すなわち、回答データベース中に新たな回答番号を付与して、この回答番号に対応して、前記検索依頼番号データを記憶する。又、前記回答入力画面300の回答タイトル入力欄301、追加補足欄302、URL入力欄303、回答者ID入力欄304にそれぞれ入力されて受入れたデータを、回答データベースの当該検索依頼番号に係る回答タイトル、追加補足、URL、回答者IDの欄にそれぞれ記録する。

【0074】そして、サーバ10の制御手段11は、回答データベースに新たなデータが追加される毎に、この新たに追加されたデータを含む回答データベースと、検索依頼データベースとを参照して、検索依頼データベース及び回答データベース中の検索依頼番号毎にその検索依頼番号に関連付けられたデータのうち、必要なデータを読み込み、検索依頼・回答表示画面200用のファイルを更新する。

【0075】（3. 検索依頼・回答表示画面を見て評価する場合）次に、端末203にて検索依頼・回答表示画面を見て評価する場合を説明する。なお、この例では、図10の例とは異なり、図12に示すように回答欄209の回答に対する評価が他のものによって予め付与されている場合について説明する。

【0076】この例は、例えば、S10において、図7の「検索依頼速報」41の表示領域をクリックし、S20において、図7に示す検索依頼速報画面領域100が端末202のディスプレイ218に表示された場合である。

【0077】図7に示す検索依頼速報画面領域100中において、ジャンル「宇宙」の検索依頼の中で、検索依頼タイトル文字列104としての「月の裏側の写真が見たい!」の文字列をクリックすると、記憶手段24に格納されるとともに同文字列にリンクしたファイルが読み込まれて、図12に示す検索依頼・回答表示画面200が表示される。

【0078】図12に示す検索依頼・回答表示画面200は、図10に示す図12に示す検索依頼・回答表示画面200とは異なり、回答欄209に、回答データが表示されている。

【0079】回答データは、図12に示すように「回答タイトル」220、「回答者ID」220a、回答日時220b、追加補足221、URL222から構成されている。これらの回答データは、この「月の裏側の写真が見たい!」の検索依頼番号に関連付けられた回答データベース中のそれぞれに対応する項目のデータが読み出されたものである。

【0080】又、URL222の文字列をクリックした場合、そのURLに対応したサーバ10の記憶手段24に格納されているファイルが読み込まれ、図13に示す

ようにそのファイルの内容が表示される。図13に示すようにその表示画面には、「目次」、「章目次」等の各種ボタン230が表示され、いずれかのボタン230がクリックされると、そのボタンに付与された処理機能が実行されて、他の表示画面にジャンプする。例えば、「前ページ」ボタンをクリックすると、図12の画面に戻る。

【0081】又、検索依頼・回答表示画面200の回答欄209には、さらに、評価データ表示領域224が設けられている。前記評価データ表示領域224には、この回答に対する評価を表にして表示されており、表は、評価ランク224a、コメント224b、評価を付与した会員の会員番号224c、及びそのランク付けしたランク登録日224dの欄からなっている。

【0082】さらに、検索依頼・回答表示画面200の回答欄209には、複数の評価付けボタン225、評価コメント入力欄226、会員番号入力欄227、登録ボタン228（図中では「送信」ボタンで示している）が表示されている。評価付けボタン225は、本実施形態では、5段階評価するため各段階に応じて5つ備えている。5段階評価は、最低は1ポイントから、最高5ポイントまでの整数値の評価である。

【0083】端末操作者は、前記回答内容の評価を行いたい場合、このいずれかの評価付けボタン225をクリックし、評価コメント入力欄226、及び会員番号入力欄227にコメント、会員番号を入力した上で（S60）、登録ボタン228をクリックする。

【0084】この登録ボタン228のクリックにより、端末203はこれらの入力されたデータ、会員番号及びこの検索依頼・回答表示画面200に関連付けられた回答番号データをサーバ10へ送信（登録）する（S70）。

【0085】サーバ10の制御手段11は、受信制御手段12を介して、回答番号データとこの回答に対する評価に関するデータ（ポイントデータとコメントデータ）を受入れ、記憶手段25に格納する。

【0086】すなわち、評価データベース中に新たな評価番号を付与して、この評価番号に対応して、前記回答番号データを記憶するとともに、ポイントデータ、コメントデータ及び会員番号を記録する。

【0087】このようにデータが更新されると、検索依頼データベース、回答データベース、評価データベースを参照し、必要なデータを読み込み、検索依頼・回答表示画面200用のファイルを更新する。

【0088】（4. ランク付け）ここで、上記のように回答内容に対して、付与されたポイントデータに基づいてランク付けする方法について説明する。

【0089】サーバ10の制御手段11は、ランク付け期間の終期であるランク付け期限の後に、ランク付け期限までに更新された評価データベースを参照し、ランク

付け期間中に付与されたポイントデータを、下記(A)のランク付け集計方法により集計している。

【0090】(A) 回答回数(すなわち、回答者が関与した検索依頼に回答したの件数)にかかわらず、ランク付け期間内のポイントの累積でポイントの多い者順とする。これは、ランク付け期間内に、異なる複数の検索依頼に対して、それぞれ回答した場合や、同じ検索依頼に対して複数回答した場合を含む趣旨である。

【0091】ここでランク付け期間内のポイントの累積とは、下記の(a)、又は(b)の2通りの集計による累積である。

(a) ランク付け期間内の回答回数に関係なく、下記の(A)又は(I)のいずれかの方法で獲得したポイントの累積

(b) ランク付け期間内の回答回数にて、下記の(A)又は(I)いずれかの方法で獲得したポイントの累積値を割った値

ここで(A)及び(I)は、1つの検索依頼に対する1回答者へのランク付けの集計方法である。すなわち、一人の回答者に対して、複数のポイントが付与されている場合の算出方法である。

【0092】(A) 各ポイント累計をそのまま採用する。(5段階評価であれば、それらの累計値)

(I) ポイントの累計をポイント付け件数で割る。(5段階評価であれば、5以下となる。)

本実施形態では、制御手段11は、(A)、(a)、(A)のアルゴリズムにて、ポイントの累積値を算出し、回答した会員毎に合計して、合計値(累積値)が大きい順に、ランク付けする。又、制御手段11は、算出したポイントの累積値及びランク付けしたランキング(順位)を、記憶手段22において回答した会員毎に登録者データベースの評価情報合計及びランキングの対応する領域に記憶する。

【0093】なお、ランク付け期間は、図15に示すように次の3つのケースがあり、いずれを採用してもよい。本実施形態では、ケース1を採用している。

1) ケース1: ランク付け期間の始期を検索依頼日とし、終期を回答期限後の所定期間経過した後の所定日とする。

【0094】2) ケース2: ランク付け期間の始期は検索依頼日と回答期限までの間の任意の日とし、終期を回答期限後の所定期間経過した後の所定日とする。

3) ケース3: ランク付け期間の回答期限を始期とし、終期を回答期限後の所定期間経過後の所定日とする。

【0095】そして、上記のランク付け期間の終期となる、ランク付け期限は、下記の2通りある。

(1) 1年の中で特定日とする。例えば、年に複数個の特定日を設ける。例えば、年3回として、4/1、8/1、12/1とする。

【0096】(2) 検索依頼日を基準日とし、基準日から一定期間後とする。例えば、1ヶ月後、50日後。この場合、回答期限は、このランク付け期限よりも早い日であることを前提とする。

【0097】本実施形態では、ランク付け期限は上記(1)を採用しているが、上記(2)で行ってもよい。(5. ランキング表)次に、端末202にてランキング表を見る場合を説明する。

【0098】端末操作者は図4に示すS10において、「ランキング表」43の表示領域をクリックする。すると、制御手段11はS110において、図14に示すランキング表画面領域500を端末202のディスプレイ218に表示するように制御する。

【0099】このランキング表画面領域500には、1~10位、11~20位までの、ランキング表510、520が表示される。各ランキング表510、520は、それぞれランク付け順位欄511、521、会員ID欄512、522、及びポイントの累積値欄513、523を備えている。

【0100】これらのランキング表510、520には、登録者データベースの「ランキング」から1~20位となる会員の会員IDと、そのポイントの累積値が制御手段11に読み出されて表示されている。

【0101】又、ランキング表画面領域においては、図14のボタン530U、530D、540L、540Rのいずれかの表示領域をクリックすると、当該三角形の頂点で定まる長方形をなす表示エリアが、各々上、下、左、右にスクロールする。

【0102】(6. 会員検索)次に、端末202にて会員検索を行う場合を説明する。端末操作者は図4に示すS10において、「会員検索」44の表示領域をクリックする。すると、制御手段11はS120において、会員検索画面600を端末202のディスプレイ218に表示するように制御する。この会員検索画面600には、ジャンル別検索ボタン610、ランキング検索ボタン620、会員番号入力欄630及び検索ボタン640を備えている。

【0103】ジャンル別検索ボタン610をクリックすると、複数のジャンル項目(図示しない)が表示され、このジャンル項目のいずれかを選択した後、検索ボタン640をクリックすると、この制御手段11は、登録者データベースの中から、得意ジャンルを検索し、選択されたジャンルに関連付けられたすべての会員の「会員ID」、「評価情報合計」、「プロフィール」を読み出して、端末202のディスプレイ218に表示するように制御する(S130)。そして、表示された「会員ID」をクリックすると、S140に移行する。

【0104】又、S120において、ランキング検索ボタン620をクリックすると、前記ランキング表にて表示された1~20位の番号が表示される。この番号のい

ずれかを選択し、検索ボタン640をクリックすると、制御手段11は、登録者データベースの中から、このランキングに関連付けられた回答者に関するデータを表示する(S140)。

【0105】本実施形態で表示される項目は、登録者データベース中の、「会員ID」、「得意ジャンル」、「プロフィール」、「評価情報合計」、回答データベース中の「回答タイトル」、「回答日時」、この「回答タイトル」に対する評価データベース中の「ポイント」、検索依頼データベース中の、「検索依頼タイトル」、

「検索依頼日」等である。

【0106】又、S120において、会員番号入力欄630に会員番号が入力され、検索ボタン640をクリックすると、制御手段11は、登録者データベースの中から、この会員番号に関連付けられた回答者に関するデータを表示する(S140)。

【0107】従って、本実施形態では以下の効果を得ることができる。

(1) 本実施形態のサーバ10は、検索依頼タイトル及び依頼内容説明(検索依頼情報)を受入れて記憶する記憶手段22~25を備え、制御手段11は、第1提示手段として、端末からの要求により検索依頼タイトル及び依頼内容説明を端末に提示し、かつ、第1記憶制御手段として、検索依頼タイトル、依頼内容説明に対する回答タイトル(回答情報)、追加補足(回答情報)、回答者の会員ID(回答者情報)を受入れた際、それらを互いに関連付けて記憶手段22~25に記憶させるようにした。

【0108】すなわち、本実施形態では、検索依頼タイトル及び依頼内容説明(検索依頼情報)と、回答タイトル及び追加補足(回答情報)、並びに回答者の会員ID(回答者ID)とは、記憶手段22~25に格納されたそれぞれが属する検索依頼データベースと、回答データベースとにおいて、検索依頼番号を介して関連付けられる。

【0109】さらに、サーバ10の制御手段11は、第2提示手段として、検索依頼タイトル、依頼内容説明、回答タイトル、追加補足、回答者の会員IDを端末に提示するようにした。

【0110】又、制御手段11は、第2記憶制御手段として、提示された回答タイトル、及び追加補足に対するポイント(評価情報)を受入れた際、回答タイトル(回答情報)、追加補足(回答情報)とポイント(評価情報)とを関連付けて記憶手段22~25に記憶させるようにした。

【0111】すなわち、本実施形態では、回答タイトル(回答情報)及び追加補足(回答情報)と、ポイント(評価情報)とは、記憶手段22~25に格納されたそれぞれが属する回答データベースと、評価データベースとにおいて、回答番号を介して関連付けられる。

【0112】そして、さらに、制御手段11は、順位決定手段として、回答者の会員ID毎に、その回答者が付与したポイントに基づいてポイントの累積値を算出(ランク付けパラメータを算出)するようにし、かつ、順位決定手段として、そのポイントの累積値に基づいて回答者会員のランキングを決定するようにした。加えて、制御手段11は、第3提示手段として、決定したランキングを提示するようにした。

【0113】この結果、「調べたいこと」や、「知りたいこと」に関する「回答」をインターネットユーザから募集できる。又、回答の評価が、回答を得たい人や、その他の人からも得られるため、評価を客観化でき、回答者による評価への信頼性も高くなる。このため、ポイントが低ければ、自分が出した回答のさらなる質的向上を目指すことができる。

【0114】さらに、複数の評価によってポイントの累積値に基づいて、他の回答者とのランク付けが行われるため、回答者同士の競争心が高まり、より高いポイントを目指すこともできる。

【0115】又、このようにして、検索依頼タイトル、依頼内容説明、及びこれらに対する回答タイトル、追加補足が得られるため、検索依頼とそれに対する回答は、ランク付けによる競争原理が働き、情報の収集蓄積が行いやすくなる。そして、これらの情報は、端末を操作した他の会員にも提示されるため、蓄積された検索依頼と回答とを他のユーザも利用することができる。

【0116】(2) 本実施形態では、検索依頼タイトル及び依頼内容説明(検索依頼情報)を受入れて記憶し、端末からの要求により検索依頼タイトル及び依頼内容説明を端末に提示し、検索依頼タイトル及び依頼内容説明に対する回答タイトル及び追加補足(回答情報)と回答者の会員ID(回答者情報)を受入れた際、回答タイトル及び追加補足(回答情報)と回答者の会員IDとを関連付けて記憶した。

【0117】さらに、検索依頼タイトル及び依頼内容説明と、回答タイトル及び追加補足と、回答者の会員IDを端末に提示し、提示された回答タイトル及び追加補足に対するポイント(評価情報)を受入れた際、回答タイトル及び追加補足とポイントとを関連付けて記憶した。

加えて、回答者の会員ID毎に、その回答者が付与したポイントに基づいてポイントを累積し(ランク付けパラメータを算出)し、そのポイントの累積値に基づいてランキング(回答者の順位)を決定し、決定されたランキングを提示するようにした。

【0118】この結果、上記(1)と同一の作用効果を奏する。

(3) 本実施形態のサーバ10の記憶手段22~25は、検索依頼タイトル及び依頼内容説明(検索依頼情報)とともに回答期限データ(回答期限情報)を受入れて記憶するものであり、第1提示手段としての制御手段

11は、端末からの要求により検索依頼タイトル及び依頼内容説明と、回答期限データとを提示するようにした。

【0119】この結果、回答期限に対して回答者の回答が早ければ、遅い場合に比して評価であるポイントを高く得ることが可能となるため、回答者を競わせて、より早い回答を得ることができる効果を奏する。

【0120】(4) 本実施形態では、算出対象期間としてのランク付け期間は、検索依頼日(検索依頼情報を受入れた日)から、回答期限を越えるランク付け期限までとしているため、このランク付け期間に受入れられたポイントに基づいてポイントの累積値を算出できる。すなわち、検索依頼日からという比較的早い日から評価情報を受入れることができる。

【0121】(5) 本実施形態では、評価情報としてポイントを採用し、ランク付けパラメータの算出として、回答者の回答回数とは無関係にそのポイントを累積するようにした。この結果、回答者のランク付けを容易に行うことができる。

【0122】(6) 本実施形態では、ポイントの累積には、回答者が関与した1つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合、これらのポイントを合計するようにした。

【0123】この結果、ポイントの累積に、回答者が関与した1つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合には、これらのポイントを合計するため、回答情報を利用したユーザ数に応じた、評価にすることができる。

【0124】なお、本発明は上記実施形態に限定されるものではなく、下記のような実施形態に具体化してもよい。

○ 前記実施形態でのランク付けでは、制御手段11は、前記(A)、(a)、(ア)のアルゴリズムにてポイントを累積したが、前記(A)、(a)、(イ)のアルゴリズムや、(A)、(b)、(ア)や、(A)、(b)、(イ)のアルゴリズムにてポイントを累積し、ランク付けを行っても良い。

【0125】例えば、(b)のアルゴリズムを採用すると、評価情報はポイントであり、ランク付けパラメータの算出は、そのポイントを累積することとなり、その累積値を回答者の回答回数で除算することになる。

【0126】この結果、ランク付け期間内の回答者の1回答当たりのポイント値が得られ、当該回答者の1回答当たりのポイントにてランキングが可能となる。又、(イ)のアルゴリズムを採用すると、ポイントの累積には、回答者が関与した1つの回答タイトル及び追加補足(回答情報)に対して複数の評価者からそれぞれ複数のポイントが付与されている場合、平均値を算出した上で、この平均値を加算することになる。

【0127】この結果、1つの回答タイトル等に対する

平均値が得られ、1つの回答タイトル等に客観的な評価を得ることができる。そして、これらの客観的な評価が累積される場合には、その累積値も客観性が高くなるため、これらの値に基づいた回答者のランキングも客観性を高くすることができる。

【0128】○ 前記実施形態では、ランク付け期間は、ケース1を採用したが、ケース2を採用したり、ケース3を採用してもよい。ケース2を採用した場合には、ランク付け期間(算出対象期間)は、検索依頼タイトル及び依頼内容説明(検索依頼情報)を受入れた日(検索依頼日)を経過した日であって、回答期限の以前の日から、回答期限を越えるランク付け期限までとしているため、このランク付け期間に受入れられた評価情報に基づいてポイントの累積値(ランク付けパラメータ)を算出できる。

【0129】ケース3を採用した場合には、ランク付け期間は、回答期限の日から、回答期限を越えるランク付け期限までとしているため、このランク付け期間に受入れられた評価情報に基づいてポイントの累積値(ランク付けパラメータ)を算出できる。

【0130】○ 前記実施形態では、前記実施形態でのランク付けでは(A)のアルゴリズムを採用しているが、下記(B)に記載のマイレージ方式で加算してもよい。

(B) 1つのランク付け期間が終了した後に、このときのポイント累積値R1を算出し、さらに他のランク付け期間が終了した際にこのランク付け期間中に獲得したポイントの累積値R2を算出し、R1とR2とを加算する。以後、同様にランク付け期間が終了する毎に、各ランク付け期間中のポイントをその都度加算し、所定回数分のランク付け期間の累積値にてランク付けしたり、或いは継続的に加算を繰り返す。

【0131】この場合においても、前記(B)、(a)、(ア)の組み合わせ、(B)、(a)、(イ)の組み合わせ、(B)、(b)、(ア)の組み合わせ、又は(B)、(b)、(イ)の組み合わせで行うものとする。

【0132】○ 前記実施形態では、サーバ10の制御手段11は、第2提示手段として、検索依頼タイトル、依頼内容説明、回答タイトル、追加補足、回答者の会員IDを端末に提示するようにした。この代わりに、サーバ10の制御手段11は、第2提示手段として、回答者IDを除く、検索依頼タイトル、依頼内容説明、回答タイトル、追加補足を端末に提示するようにしてもよい。

【0133】○ 前記実施形態では、有料会員、無料会員に関係なく、回答の評価のためのポイントは同じとしている。これに代えて、有料会員が検索依頼者及び回答者のうち少なくともいずれかになっている場合には、検索依頼者及び回答者のいずれもが無料会員である場合に比して評価のためのポイントを大きくしてもよい。

【0134】以下の(1)及び(2)は、有料会員が関与した場合の例である。

(1) 検索依頼者、回答者がいずれも有料会員である場合、ポイントは、検索依頼者と回答者が無料会員である場合よりも例えば4倍とする。

【0135】(2) 検索依頼者、回答者のうち、いずれかが有料会員である場合、ポイントは、検索依頼者と回答者が無料会員である場合よりも例えば2倍とする。このように、有料会員が関与する度合いが大きいほど、ポイントをそうでない場合に比して、大きくすると、有料会員による質問依頼数、及び回答数が増加することが期待できる。又、有料会員の場合には、ポイントが得られやすくなり、検索依頼に対する回答への関心を高め、早い回答や、質の高い回答を得やすくなる。

【0136】或いは、ポイントの幅を無料会員よりも、例えば、前記実施形態の5段階評価よりも10段階評価のように広げたりしてもよい。さらに、前記実施形態では、検索依頼者には、ポイントを付与することはなかったが、検索依頼者に対して、ポイントを付与したり、特に有料会員に対しては、無料会員に比してより大きな、ポイントを付与してもよい。こうすると、多くの検索依頼者となった者に対してポイントが得られやすくなり、検索依頼の情報量を多くすることが可能となる。

【0137】○ 上記の例では、有料会員と無料会員とに付与するポイントに差を設けたが、下記のような特典を付与しても、有料会員から、検索依頼や回答を多く得ることが可能となる。

【0138】(1) 検索依頼者が有料会員の場合、検索依頼日に制限を設けないのに対し、検索依頼者が無料会員の場合には、一定の制限期間内のみ許容すること。

(2) 検索依頼者が有料会員の場合、回答期限日の設定を自由とするのに対し、検索依頼者が無料会員の場合は、回答期限日を一定の制限期間内のみ許可すること。

【0139】(3) 検索依頼者が有料会員の場合、回答内容に対してポイントや、コメントを付与することが可能とするのに対して、検索依頼者が無料会員の場合には、ポイントやコメントの付与ができないようにすること。

【0140】(4) 検索依頼者が有料会員の場合、回答者の指名が可能であるのに対して、検索依頼者が無料会員の場合には、回答者の指名が許容されていないこと。

(5) 検索依頼者が有料会員の場合、検索依頼の回答に付与されたポイントをそのまま、当該検索依頼者に対しても付与するのに対して、検索依頼者が無料会員の場合には、そのようなポイントは付与しないこと。

【0141】(6) 検索依頼者が有料会員の場合、検索依頼数に応じて、所定のポイントを付与するのに対して、検索依頼者が無料会員の場合には、そのようなポイ

ントは付与しないこと。

【0142】(7) 回答者が有料会員の場合、検索依頼があった旨を知らせる電子メールでの受信サービスがあるのに対して、回答者が無料会員の場合には、そのようなサービスがないこと。

【0143】(8) 回答者が有料会員の場合、検索依頼の内容の閲覧が、早期にできるのに対して、回答者が無料会員の場合、検索依頼日から所定期間経過後から閲覧し得るようにして、早期には閲覧が不能であること。

【0144】

【発明の効果】以上詳述したように請求項1及び請求項10に記載の発明によれば、「調べたいこと」や、「知りたいこと」に関する「回答」をインターネットユーザから募集することにより、キーワード検索と異なり、的はずれの回答しか得られないということがなくなる。

又、回答者の知的レベルを、ユーザが評価することにより、回答者を競わせて、より適正な回答を得ることができ。そして、このような適正な回答を検索依頼情報とともに、提示することにより、蓄積された検索依頼と回答とを他のユーザも利用することができる。

【0145】請求項2及び請求項11に記載の発明によれば、請求項1の発明の効果に加えて、回答者の回答スピードを、ユーザが評価することにより、回答者を競わせて、より早い回答を得ることができる効果を奏する。

【0146】請求項3及び請求項12に記載の発明によれば、算出対象期間は、検索依頼情報を受入れた日から、回答期限情報の回答期限を越える所定日までとしているため、この算出対象期間に受入れられた評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出できる。すなわち、検索依頼情報を受入れた日からという比較的早い日から評価情報を受入れることができる。

【0147】請求項4請求項13に記載の発明によれば、算出対象期間は、検索依頼情報を受入れた日を経過した日であって、回答期限情報の回答期限の以前の日から、回答期限を越える所定日までとしているため、この算出対象期間に受入れられた評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出できる。

【0148】請求項5及び請求項14に記載の発明によれば、算出対象期間は、回答期限情報の回答期限の日から、回答期限を越える所定日までとしているため、この算出対象期間に受入れられた評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出できる。

【0149】請求項6及び請求項15に記載の発明によれば、評価情報をポイントとし、ランク付けパラメータの算出を、回答者の回答回数とは無関係にそのポイントを累積することにより、回答者のランク付けを容易に行うことができる。

【0150】請求項7及び請求項16に記載の発明によれば、算出対象期間内の回答者の1回答当たりのポイント値が得られ、当該回答者の1回答当たりのポイントに

10

20

30

40

50

てランキングが可能となるとともに、1回答当たりのポイントにて回答者の回答レベル判定ができる。

【0151】請求項8及び請求項17に記載の発明によれば、ポイントの累積に、回答者が関与した1つの回答情報に対して複数のポイントが付与されている場合には、これらのポイントを合計するため、回答情報を利用したユーザ数に応じた、評価にすることができる。

【0152】請求項9及び請求項18に記載の発明によれば、1つの回答タイトル等に対する平均値が得られ、1つの回答タイトル等に客観的な評価を得ることができ、これらの客観的な評価が累積される場合には、その累積値も客観性が高くなるため、これらの値に基づいた回答者のランキングも客観性を高くすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明を具体化した一実施形態におけるコンピュータネットワーク上における情報収集・情報提供を行うサーバ10の制御ブロック図

【図2】 本発明の実施形態のサーバ10が接続するインターネットの説明図。

【図3】 端末の制御ブロック図。

【図4】 サーバ10が端末を介して実行するフローチャート。

*

*【図5】 (a)は検索依頼データベースの説明図、(b)は回答データベースの説明図。

【図6】 (a)は評価データベースの説明図、(b)は登録者データベースの説明図。

【図7】 検索依頼速報画面の説明図。

【図8】 検索依頼登録画面の説明図。

【図9】 図7とは異なる検索依頼速報画面の説明図。

【図10】 検索依頼・回答表示画面の説明図。

【図11】 回答入力画面の説明図。

10 【図12】 図10とは異なる検索依頼・回答表示画面の説明図。

【図13】 他の画面の説明図。

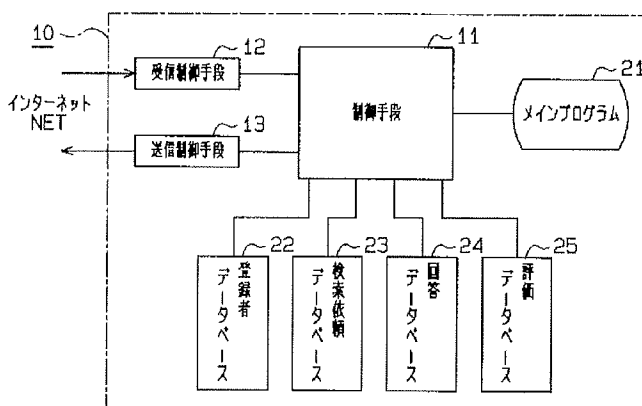
【図14】 ランキング表画面領域の説明図。

【図15】 ランク付け期間の説明図。

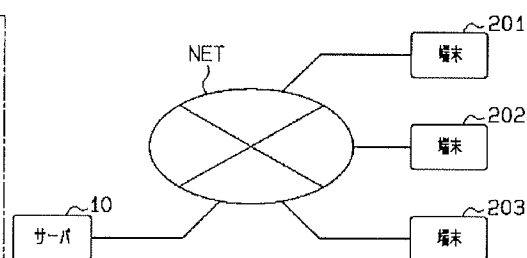
【符号の説明】

10…サーバ（情報収集・情報提供装置に相当する。）、11…制御手段（第1提示手段、第2提示手段、第3提示手段、第1記憶制御手段、第2記憶制御手段、及び順位決定手段に相当する。）、12…受信制御手段、13…送信制御手段、201…端末、NET…インターネット。

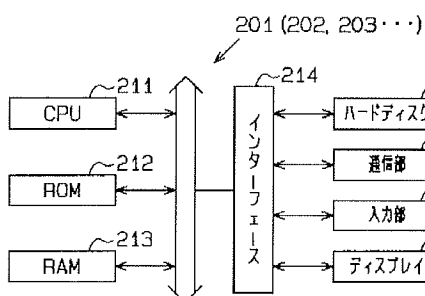
【図1】



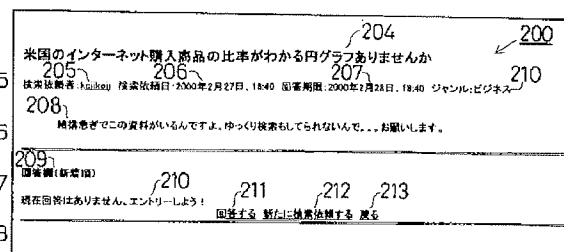
【図2】



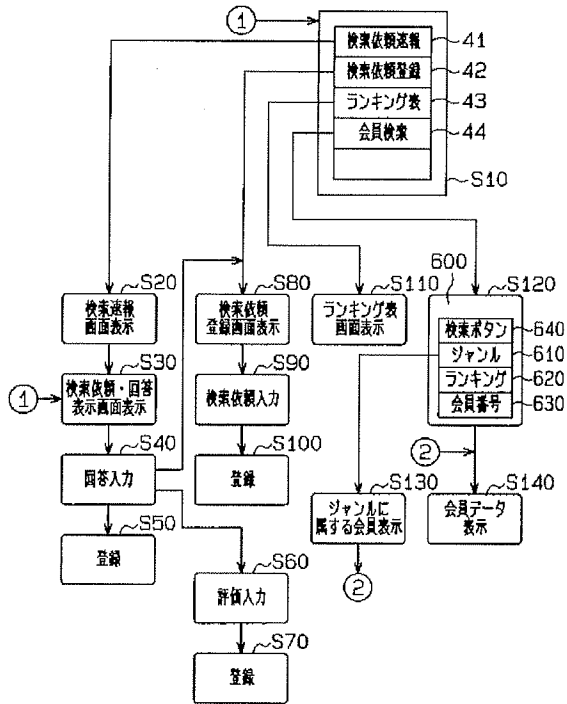
【図3】



【図10】



【図4】



【図6】

(a) 評価データベース

評価番号	回答番号	ポイント	コメント	評価者 会員番号
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				

(b) 登録者データベース

会員番号	URL	会員ID	有料会員	得意ジャンル	プロフィール	評価情報合計	ランキング
1001							
1002							
1003							
1004							
1005							
1006							
1007							
1008							

【図5】

(a) 検索依頼データベース

検索依頼番号	検索依頼者 会員番号	ジャンル	依頼内容説明 タイトル	指名回答者 会員番号	回答期限	検索依頼日
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

(b) 回答データベース

回答番号	検索依頼番号	回答タイトル	追加補足	URL	回答者ID	回答日時
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

【図11】

300

301
タイトル:

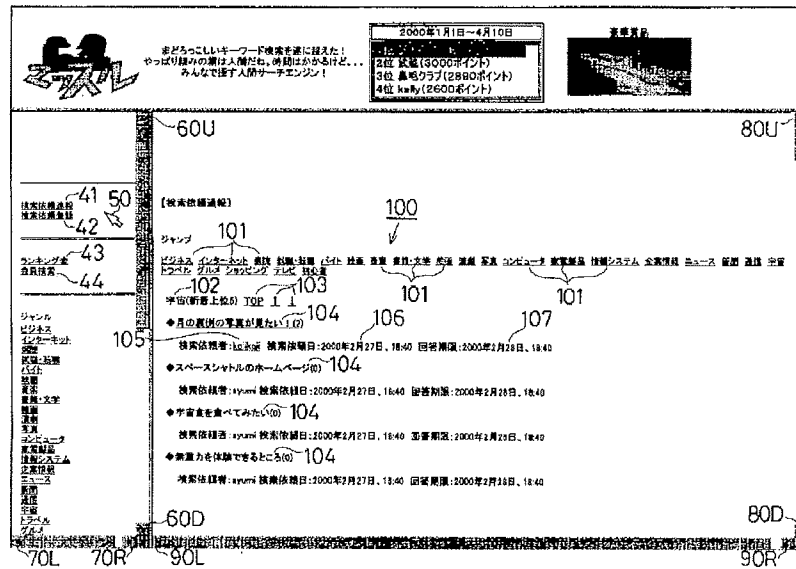
302
検索期間:

303
URL:

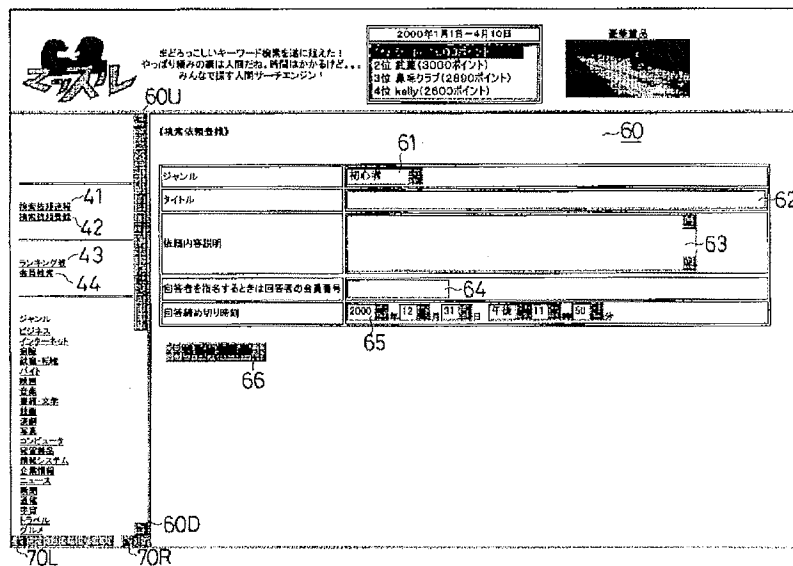
304
ID:

305
[ボタン]

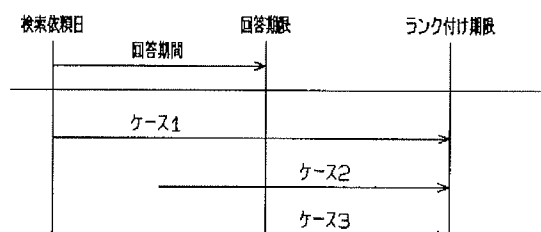
【図7】



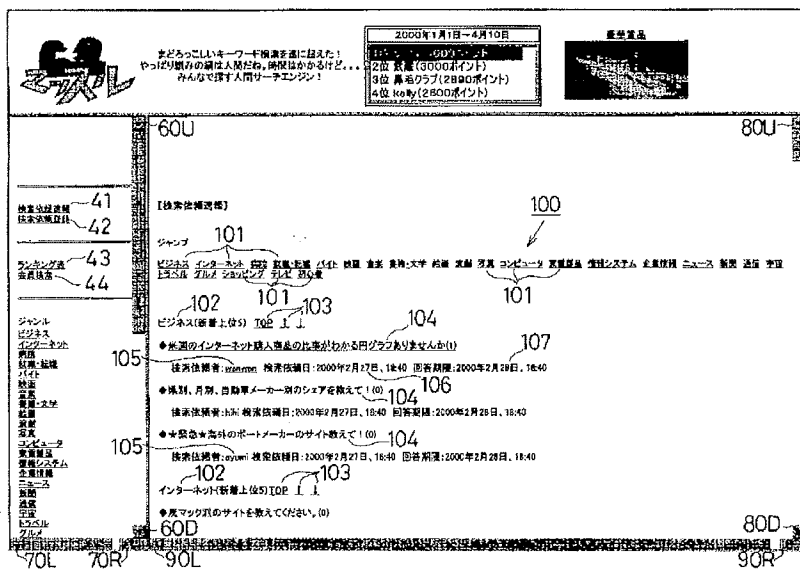
【図8】



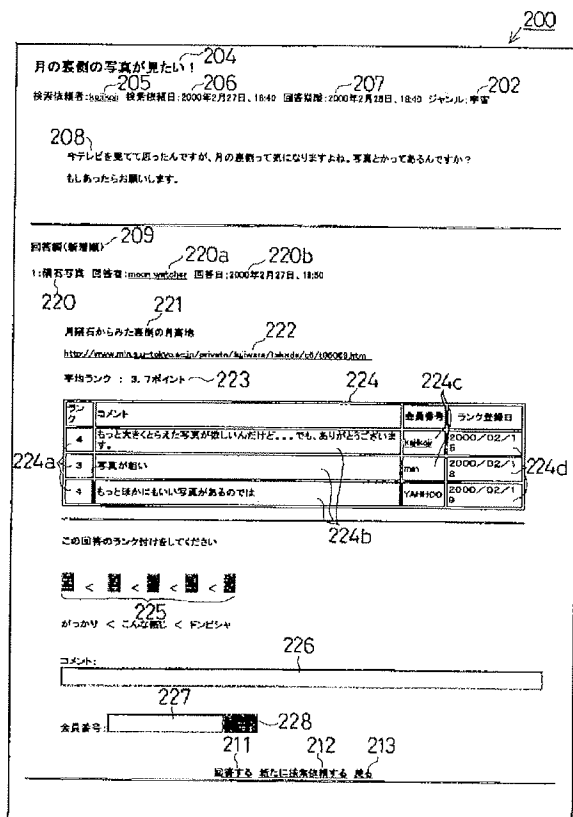
【図15】



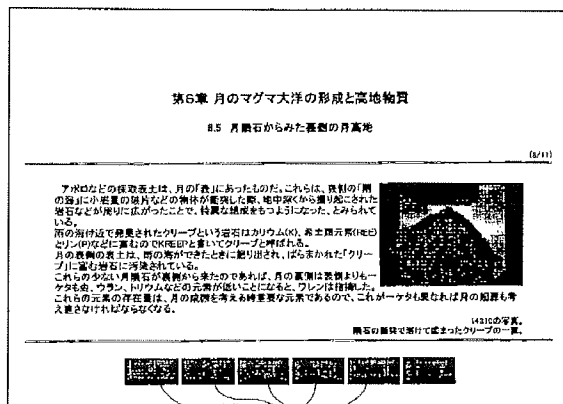
【图 9】



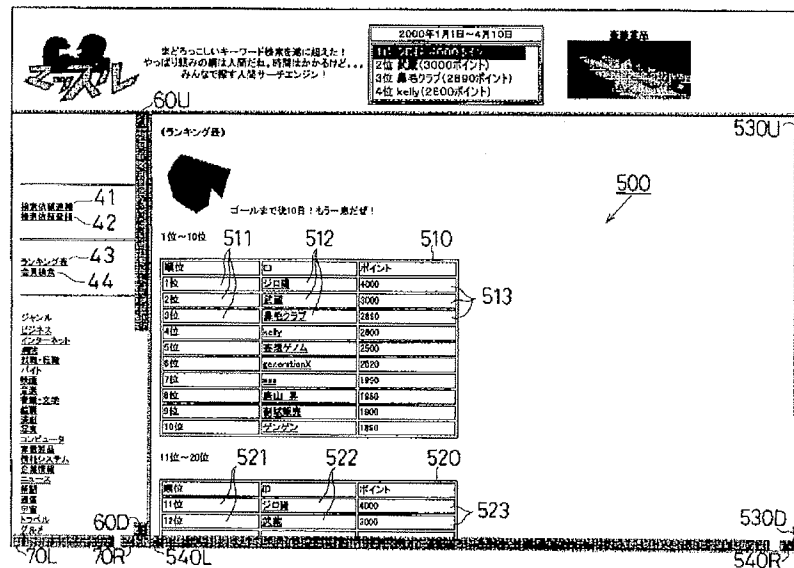
【图 12】



【图 13】



【図14】



【手続補正書】

【提出日】平成13年6月29日（2001. 6. 29）

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項1】 インターネットを介して複数のインターネットユーザの端末が接続されたコンピュータネットワークを使用して、端末から検索依頼情報及びそれに対する回答情報を受入れて収集し、検索依頼情報と回答情報とを互に関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供方法において、検索依頼情報の入力があった端末から当該検索依頼情報を受入れて記憶し、その検索依頼情報の提示要求があった端末に前記検索依頼情報を提示し、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を当該情報の入力があった端末から受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶し、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示要求があった端末に提示し、前記提示された回答情報に対する評価情報を当該評価情報の入力があった端末から受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶し、

回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示することを特徴とする情報収集・情報提供方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項2】 インターネットを介して複数のインターネットユーザの端末が接続されたコンピュータネットワークを使用して、端末から検索依頼情報及びそれに対する回答情報を受入れて収集し、検索依頼情報と回答情報とを互に関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供方法において、検索依頼情報の入力があった端末から当該検索依頼情報とともにその検索依頼情報に対する回答期限情報を受入れて、関連付けて記憶し、その検索依頼情報及び回答期限情報の提示要求があった端末にその検索依頼情報と回答期限情報を提示し、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を当該情報の入力があった端末から受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶し、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示要求があった端

末に提示し、

前記提示された回答情報に対する評価情報を当該評価情報の入力があった端末から受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶し、
回答者情報毎に、回答者が付与した回答情報の評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、
そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示することを特徴とする情報収集・情報提供方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項10】 インターネットを介して複数のインターネットユーザの端末が接続されたコンピュータネットワークに接続され、端末からコンピュータネットワークを介して入力された検索依頼情報及び回答情報を収集し、検索依頼情報に係る回答情報を関連付けてデータベースとして構築し、検索依頼情報と回答情報とを互いに関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供装置において、
検索依頼情報の入力があった端末から当該検索依頼情報を受入れて記憶する記憶手段と、
その検索依頼情報の提示要求があった端末に前記検索依頼情報を提示する第1提示手段と、
前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を当該情報の入力があった端末から受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報、及び回答者情報とを互いに関連付けて前記記憶手段に記憶させる第1記憶制御手段と、
前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示要求があった端末に提示する第2提示手段と、
前記提示された回答情報に対する評価情報を当該評価情報の入力があった端末から受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶手段に記憶させる第2記憶制御手段と、
回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定する順位決定手段と、
前記順位決定手段が決定した回答者順位を提示する第3提示手段を備えたことを特徴とする情報収集・情報提供装置。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正内容】

【0002】

【従来の技術】インターネット上において、インターネット情報検索サービスが従来から行われている。インターネット情報検索サービスとしては、「ロボット系」、「ディレクト系」、「メタ系」のものが公知である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】前記の目的を達成するため請求項1に記載の発明は、インターネットを介して複数のインターネットユーザの端末が接続されたコンピュータネットワークを使用して、端末から検索依頼情報及びそれに対する回答情報を受入れて収集し、検索依頼情報と回答情報とを互いに関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供方法において、
検索依頼情報の入力があった端末から当該検索依頼情報を受入れて記憶し、その検索依頼情報の提示要求があった端末に前記検索依頼情報を提示し、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を当該情報の入力があった端末から受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶し、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示要求があった端末に提示し、前記提示された回答情報に対する評価情報を当該評価情報の入力があった端末から受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶し、回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示することを要旨とするものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正内容】

【0009】請求項2の発明は、インターネットを介して複数のインターネットユーザの端末が接続されたコンピュータネットワークを使用し、端末から検索依頼情報及びそれに対する回答情報を受入れて収集し、検索依頼情報と回答情報とを互いに関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供方法において、
検索依頼情報の入力があった端末から当該検索依頼情報とともにその検索依頼情報に対する回答期限情報を受入れて、関連付けて記憶し、その検索依頼情報及び回答期限情報の提示要求があった端末にその検索依頼情報と回答期限情報を提示し、前記検索依頼情報

に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を当該情報の入力があった端末から受入れた際、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶し、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示要求があった端末に提示し、前記提示された回答情報に対する評価情報を当該評価情報の入力があった端末から受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶し、回答者情報毎に、回答者が付与した回答情報の評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示することを要旨とするものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正内容】

【0017】請求項10の発明は、インターネットを介して複数のインターネットユーザの端末が接続されたコンピュータネットワークに接続され、コンピュータネットワークを介して入力された検索依頼情報及び回答情報を収集し、検索依頼情報に係る回答情報を関連付けてデータベースとして構築し、検索依頼情報と回答情報とを互いに関連付けてコンピュータネットワークを介して端末に送信する情報収集・情報提供装置において、検索依頼情報の入力があった端末から当該検索依頼情報を受入れて記憶する記憶手段と、その検索依頼情報の提示要求があった端末に前記検索依頼情報を提示する第1提示手段と、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を当該情報の入力があった端末から受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報、及び回答者情報とを互いに関連付けて前記記憶手段に記憶させる第1記憶制御手段と、検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示要求があった端末に提示する第2提示手段と、前記提示された回答情報に対する評価情報を当該評価情報の入力があった端末から受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶手段に記憶させる第2記憶制御手段と、回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定する順位決定手段と、前記順位決定手段が決定した回答者順位を提示する第3提示手段を備えたことを要旨とするものである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正内容】

【0026】（作用）請求項1の発明によれば、インタ

ーネットを介して検索依頼情報の入力があった端末からの検索依頼情報を受入れて記憶し、次に、その検索依頼情報の提示要求があった端末に前記検索依頼情報を提示する。続いて、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を当該情報の入力があった端末から受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶する。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正内容】

【0027】そして、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示要求があった端末に提示する。この場合、検索依頼情報、回答情報、回答者情報とを提示してもよい。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正内容】

【0028】前記提示された回答情報に対する評価情報を当該評価情報の入力があった端末から受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶する。その後、回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示する。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正内容】

【0031】請求項2の発明によれば、検索依頼情報とともにその検索依頼情報に対する回答期限情報を受入れて、関連付けて記憶する。次に、その検索依頼情報及び回答期限情報の提示要求があった端末にその検索依頼情報と回答期限情報を提示する。続いて、前記検索依頼情報に対する回答情報とその回答情報を付与した回答者の回答者情報を当該情報の入力があった端末から受入れた際、回答情報と回答者情報とを関連付けて記憶する。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正内容】

【0032】そして、前記検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示要求があった端末に提示する。この場合、検索依頼情報、回答情報、回答者情報とを提示してもよい。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正内容】

【0033】前記提示された回答情報に対する評価情報を当該評価情報の入力があった端末から受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶する。その後、回答者情報毎に、回答者が関与した回答情報の評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定し、決定された回答者順位を提示する。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正内容】

【0035】請求項10の発明によれば、記憶手段は、インターネットを介して検索依頼情報の入力があった端末からの検索依頼情報を受入れて記憶する。第1提示手段は、前記検索依頼情報をインターネットを介して提示要求があった端末に提示する。第1記憶制御手段は、前記検索依頼情報に対する回答情報と、その回答情報を付与した回答者の回答者情報を当該情報の入力があった端末から受入れた際、前記検索依頼情報、回答情報、及び回答者情報とを互いに関連付けて前記記憶手段に記憶させる。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正内容】

【0036】又、第2提示手段は、検索依頼情報と、回答情報、回答者情報のうち、少なくとも検索依頼情報と回答情報を提示要求があった端末に提示する。第2記憶制御手段は、前記提示された回答情報に対する評価情報を当該評価情報の入力があった端末から受入れた際、同回答情報と評価情報とを関連付けて記憶手段に記憶させる。又、順位決定手段は、回答者情報毎に、その回答者が付与した回答情報に関する評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出し、そのランク付けパラメータに基づいて回答者の順位を決定する。第3提示手段は、前記順位決定手段が決定した回答者順位を提示する。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正内容】

【0068】又、回答欄209には、回答データベース中、検索依頼番号に関連付けられた、回答タイトル、追

加補足等の内容が表示されるが、図10の例では、回答欄209には回答が付与されていない例であるため、表示されていない。なお、回答欄に回答が付与された例（図12の例）は後述する。

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正内容】

【0069】そして、図10の例では、回答が付与されていないため、回答欄209の表示エリア内には回答がない旨の「現在回答はありません。エントリーしよう！」が定文として表示されている。

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正内容】

【0078】図12に示す検索依頼・回答表示画面200は、図10に示す検索依頼・回答表示画面200とは異なり、回答欄209に、回答データが表示されている。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0144

【補正方法】変更

【補正内容】

【0144】

【発明の効果】以上詳述したように、請求項1及び請求項10に記載の発明によれば、「調べたいこと」や、「知りたいこと」に関する「回答」をインターネットユーザから募集することにより、キーワード検索と異なり、的はずれの回答しか得られないということがなくなる。又、回答者の知的レベルを、ユーザが評価することにより、回答者を競わせて、より適正な回答を得ることができる。そして、このような適正な回答を検索依頼情報とともに、提示することにより、蓄積された検索依頼と回答とを他のユーザも利用することができる。

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0147

【補正方法】変更

【補正内容】

【0147】請求項4及び請求項13に記載の発明によれば、算出対象期間は、検索依頼情報を受入れた日を経過した日であって、回答期限情報の回答期限の以前の日から、回答期限を越える所定日までとしているため、この算出対象期間に受入れられた評価情報に基づいてランク付けパラメータを算出できる。